

ふたがた

2023

第95号



Contents

- P 2…総合施設長挨拶・とがくら園
- P 3…おおくら園・まつくらセンター
- P 4…かまくら園・医療課
- P 5…なでくらセンター・食事サービス課
- P 5…地域移行推進部
- P 6…整備推進室・敷地内案内図
- P 6…ホームページのご案内・編集後記

【写真の説明】

卒寿のお祝い / おおくら	今日はお弁当♪ / かまくら
	ポーズを決めてパシャリ! / まつくら
真剣に色塗り中… / なでくら	仲良く談笑 / とがくら

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
宮城県船形の郷

<http://www.miyagi-sfk.net/sato>

〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21

TEL 022-345-3282

FAX 022-345-3984

ご挨拶



総合施設長 鷲 伸晃

昨年は新型コロナウイルス感染症予防に明け暮れた年でした。当施設でも何度か新型コロナウイルス感染症があり、その都度保健所と連携しながら対策を講じてきました。また、建替え工事につきましては、令和4年10月より新たな居住棟1棟（とがくら園）と日中活動を行う活動棟1棟が供用開始となり、利用者の皆様もこれまで以上に充実した生活を過ごされています。さて、今年「卯年」で「癸卯（みずのとく）」です。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長して飛躍するという意味があるそうです。当施設でも「癸卯」にあやかり、施設建替えを契機にこれまで以上に支援の充実を図っていきたくと考えています。未だ閉塞感のある生活を余儀なくされていますが、ウィズコロナを念頭に置き、利用者の皆様に少しでも安心かつ充実した生活を送っていただけるよう努めていきたいと思っております。

最後になりますが、皆様には引き続き当施設の運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。



各部署の取り組み状況について

とがくら園

◎入所支援と生活介護の提供

【園の特色と目標】

高齢の方が多く、8割以上が車いすを使用しており、移動には介助が必要です。また、ボランティアの受入れや、動物とのふれあい活動など、地域の方々との交流（現在コロナ禍で見合わせ中）を通して生活意欲の向上につなげ、利用者の皆様の笑顔をいっぱい引き出せるように取り組んでいます。

☆新棟への引っ越し
昨年10月4日に新棟のとがくら園へ無事に引っ越しを終えました。全室個室となったことで、よりのびのびと過ごされています。



☆日中活動
新棟には各ユニットに回廊式の空間があり、中心には中庭があります。中庭から自然光が差し、明るく温かい雰囲気の中で日中活動に取り組まれています。



☆お正月行事
お正月には、書き初めや絵馬を書き、新年行事を楽しみました。また、卯年にちなみ、ウサギの耳が付いたダルマに顔を描き、今年一年の健康と幸福をお祈りしました。



☆新年会
新年会では獅子舞に頭を噛まれ、驚いた様子でした。獅子舞の御利益で、この一年もコロナに負けず、明るく楽しく過ごしていただきたいと思います。



祝 卒寿



☆卒寿を祝う会
 おおくら園初となる卒寿（満90歳）を迎えられた利用者様へのお祝いの会を開催しました！園を挙げての盛大なお祝いに、ご本人様も嬉しそうにされていました。船形の郷で最高齢の男性利用者様なので、これからは笑顔いっぱい元気な過ごす日々を！

おおくら園

◎入所支援と生活介護の提供

【園の特色と目標】
 利用者の皆様の社会参加に向け日々支援に努めています。また特にご家族との連携を大切にしています。
 毎月各ご家庭へ担当職員が利用者皆様の近況報告を行っており、ご家族様のご意見等も伺いながら、支援に取り組んでいます。



☆クリスマス会
 サンタとトナカイがおおくら園にやってきました！一緒に記念撮影を行い、楽しいひと時を過ごしました。



☆忘年会
 昨年末に忘年会を開催しました。豪華なお弁当とデザートに、皆様大満足の様子でした。



☆誕生日会
 お誕生日を迎えた方のお祝いをしました。皆様思い思いにリクエストしたメニューを食べ、楽しまれました。



☆初詣
 大和町内の吉岡八幡神社へ初詣に行きました。今年一年がよい年になるよう、お祈りしました。



☆芋煮会
 11月に、地元猟師の方からいただいた猪肉と、まつくらセンターで育てている野菜を使って芋煮会を行いました。食材の収穫・調理・窯作り・会場作りなど、利用者の皆様で作業分担任して準備をしました。野外という事も少し肌寒い中での開催ではありますが、美味しい芋煮で心も体も温まりました。

まつくらセンター

◎就労継続支援 B型事業所

【センターの特色と目標】
 地域で暮らす方々を対象とし、様々な就労の機会を提供し工賃をお支払っています。自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援します。

かまくら園

◎入所支援と生活介護の提供

【園の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事を通して潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。

今年度も新型コロナウイルスの流行により、社会体験外出やご家族との面会、季節の行事など、一部制限せざるを得ない状況が続きました。そのような中でも、皆様に少しでも楽しく過ごしていただけるよう、お楽しみ会やお絵描き・読書など、室内でも楽しめるような活動を中心に検討し、提供しています。

☆日中活動

かまくら園の利用者様は手先が器用な方も多く、集中して楽しみながら室内活動や創作活動に取り組まれています。



☆ハロウィン会

各係で仮装し、ハロウィン会を楽しみました。スタンブラリーをしたらお菓子を食べたりして、とても盛り上がりました！



☆園長との懇談会

誕生月の利用者様と園長との懇談会を毎月開催しています。ご自身の好きなメニューを注文し、ラーメンやお弁当、スイーツなどを楽しまれています。



☆忘年会・クリスマス会

年末に忘年会とクリスマス会を行いました。事前にクリスマスツリーを利用者様と一緒に作成し、当日は完成した華やかなツリーと一緒にクリスマス会を楽しみました。



☆書初め

年始に書初めを行いました。好きな字や目標など、皆様思い思いに書いていました。



医療課 ワンポイント健康講座

「ヒートショック」にご用心!

皆さんは「ヒートショック」をご存じでしょうか？

ヒートショックとは、急激な温度変化で身体がダメージを受けることを言います。代表的なのは冬場の浴槽でのヒートショックです。血圧の乱高下に伴い、脳内出血や大動脈解離・心筋梗塞・脳梗塞などの病気が引き起こされます。令和元年のデータでは、交通事故による死亡者が約3000人であったのに対し、ヒートショックに関連した死亡者数は4900人となっているそうです。



65歳以上の高齢者や、肥満、糖尿病、高血圧、心臓や肺・気管が悪い方は特に注意が必要です。

対策としては、暖かい部屋から急に寒い部屋(脱衣所やトイレなど)への移動に注意することです。脱衣所やトイレを小型の暖房器で暖めたり、入浴前に浴槽の蓋を開けておくなどの工夫もよいようです。また、お風呂を40度未満のぬるま湯にして、長湯を避けることも効果的です。熱いお湯に浸かると血圧が一気に上がり、数分後には急降下するので、血管に大きな負担がかかり非常に危険です。

まだまだ寒い日が続きます。快適に過ごせるように注意していきましょう。

なでくらセンター

◎軽作業等による日中活動の提供

【センターの特色と目標】

「作業支援」や「社会体験外出」等に取り組み、地域との関わりを含め、「その人らしい生活の実現」を目指します。

新棟へ引越してから、早いもので半年が過ぎようとしています。何もかもが新しい環境でのスタートでしたが、なでくらセンターの利用者様は新しい作業室にすっかり慣れ、ご自分なりの作業環境にて作業に集中して取り組まれています。



工房グループでは屋内外作業室内にて「電流コイルの分解」、「ゲームパーツ清掃」を主体に作業しています。特に「電流コイルの分解」は昨年の4月から加わった作業ですが、皆様だいぶ慣れたようで、活動として選ばれる方も多いです。

創作グループは季節に合わせた壁面装飾に力を入れています。なでくら事務所前や屋内外作業室前には、利用者様の活動写真や創作作品が飾られています。年明けには書初めも体験しました。また、活動に対する意見などを聞く「みんなの集い」を毎月開催し、要望の多いボウリング(室内)やドリア

【園芸グループの活動】

秋、色づいた木々の葉が舞い散る頃、施設内の落ち葉清掃を行いました。側溝内や路上に散り積もった落ち葉を、利用者様と職員で力を合わせて集めました。また、秋・冬の花として夏頃より育てていたビオラ・葉牡丹を、所内の花壇に定植しました。雪で白一色となる冬の花壇を、黄色や紫の花々で彩ってくれています。そして、雪が降った後は、冬の大仕事として園芸ハウスを中心に雪かきを行っています。気温が低い中で、屋外作業は気力と体力を要しますが、皆様防寒対策をしっかりと行い、適宜休憩を取りながら取り組まれています。



【園芸ハウスの様子】

現在、園芸ハウスでは昨年末よりプリムラを育てています。見頃となる3月に色とりどりの花が咲くことを願いながら、日々丁寧に世話をしています。お近くにお越しの際は、是非園芸ハウスまでお立ち寄りください。◇なでくらセンター活動日 土日祝日を除く毎日 (9時10分〜15時30分)



食事サービス課

新しい給食室での食事作りにも慣れてきて、利用者様の希望メニューや調理員のおすすめメニューを提供できるようになりました。

船形の郷の一番人気は「味噌ラーメン」と「カレーライス」で、定期的に提供するようになっています。温冷配膳車の導入により温かい食事が提供できるようになり、以前よりもおいしく感じるのではないかと思います。



また、年間を通してまつくらセンターで収穫した野菜を安価で納品してもらえるので、食材の値上がりが続く中、とても助かっています。これから食事を通して利用者の皆様の健康づくりのお手伝いができるように、スタッフ一同、頑張っていきたいと思っております。



地域移行推進部

【推進部の特色】

入所や短期入所に係る相談の受付と、地域生活移行を担当する部署です。お気軽にお電話ください。電話 022-345-3282

◇入所・短期入所について

利用対象となる方は
入所・知的障害のある障害支援区分4以上(50歳以上の方は障害支援区分3以上)の方
短期入所・知的障害のある障害支援区分1以上の方。

入所申込み・短期入所利用の流れ

見学申込み
(ご希望の方は、地域移行推進部までご連絡ください。)

見学・相談・生活状況等の確認
※相談支援事業所の同席をお願いしております。

入所申込み・短期入所契約

※見学について

現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者様が生活されている居住棟については立ち入りを制限させていただいております。そのため、見学の際はユニット内の映像と外観のみとなることをご了承ください。

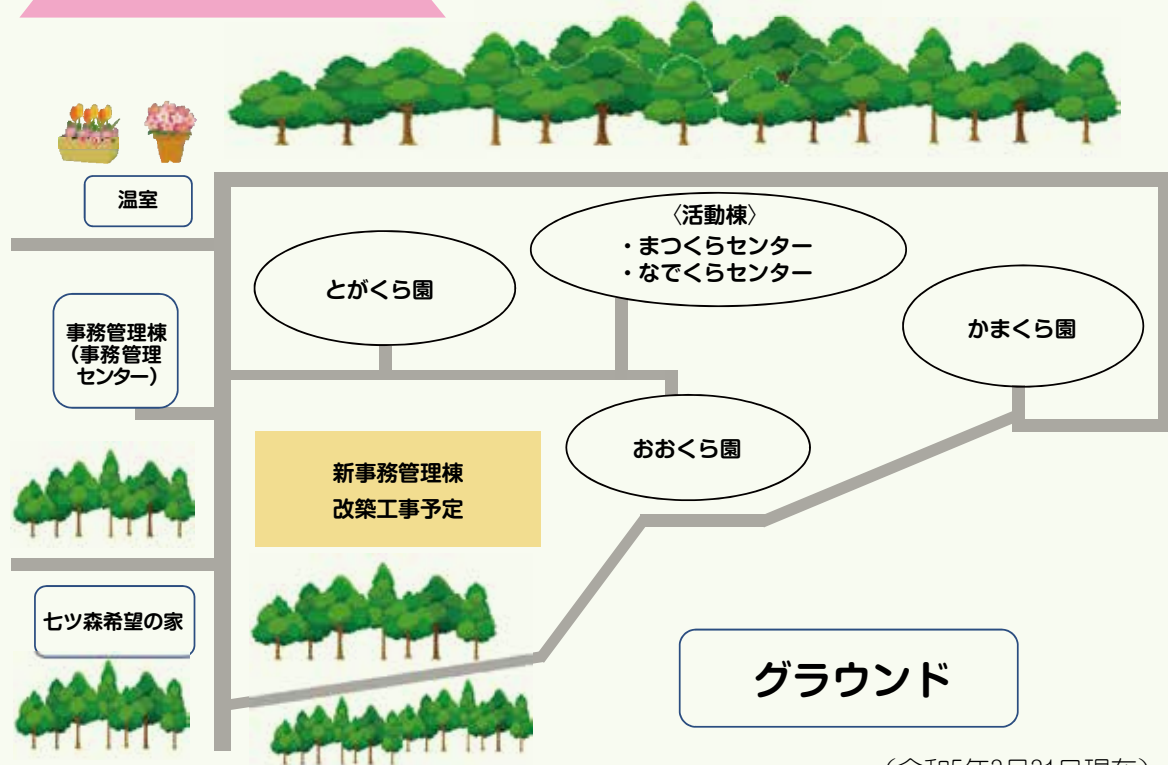


◇エネルギー棟エリアの解体工事
令和4年10月下旬より解体エリアの仮囲いが始まり、11月中旬から長年の慣れ親しんだ建物が段階的に取り壊され、年明けには建物の解体作業が終了しています。1月中旬からは解体エリア内の外構工事や整地が進められ、2月下旬をもって解体工事が完了しています。施工業者を含め、皆様が協力のおかげで、感謝申し上げます。



◇令和5年度の工事予定
4月以降の工事として、新事務管理棟の改築工事（解体工事が行われていたエリア）が予定されています。今後敷地内の工事も引き続き、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、皆様のご協力をいただければ幸いです。また、船形の郷ホームペーjに、改築工事の進捗状況等を掲載してまいります。

敷地内案内図



(令和5年3月31日現在)

寒かった冬も過ぎ、暖かな日の光に新しい季節を感じる時季になってきました。
さて、春のイベントも、そして別れの季節でもあります。船形の郷でも毎年多くの職員が異動します。新しく来る職員にわくわくしながらも、一方でお別れする職員への寂しさもあり、春はどうしても複雑な気持ちになってしまいます。人が入れ替わっても、船形の郷が変わらず利用者様、そして職員が笑顔で溢れるような場所であり続けることを願っています。

令和5年3月
宮城県船形の郷 広報委員会

編集後記



『宮城県船形の郷』で検索

ホームページの案内
施設概要の他、行事や活動の様子などが掲載されており、是非ご覧ください。